

白浜キャンプ場で キャンプやバーベキューを楽しみませんか

利用期間

オートキャンプ場、フリーテント、
バーベキュー棟
⇒4月10日～10月31日
常設テント
⇒7月1日～9月10日

受け付け（4月1日から）

白浜キャンプ場運営委員会(☎⑧6006)



海岸沿いに野外バーベキュー場を増設しました。素晴らしい海の眺めを楽しめます。

白浜キャンプ場利用料金表

入場料	中学生以上	200円
	3歳～小学生	100円
常設テント (1泊)	4人用	4,100円
	6人用	5,300円
オートキャンプ (1泊)	貸テント	5,000円
	持ち込みテント	4,000円
フリーテント (1泊・日帰り)	貸テント	1,700円
	持ち込みテント	1,100円
バーベキュー棟・野外(1回)		2,030円

オートキャンプ、常設テントも日帰りで利用できます。お尋ねは、同運営委員会か市役所公園街路課(☎⑧1111)にどうぞ。また、同課、各支所でパンフレットを配布しています。

「2004年のホワイトデー」は 環境について考えるやさしい1日にしよう!

地球温暖化などについて考える環境イベントを開催します。元宇宙飛行士の秋山豊寛さんの講演会や、子どもたちが環境について考える「させぼっ子環境サミット」などのイベントに参加してみませんか。

とき 3月14日(日)11時～16時30分

ところ 西海パールシーセンター

内容

地球温暖化防止セミナー
(11時～12時・クロスホール)
松千ミニコンサート
(12時30分～13時・マリナホール)
秋山豊寛さんの講演会「宇宙へ。そして農人の道へ」
(13時～14時15分・マリナホール)
させぼっ子環境サミット
(14時15分～15時45分・マリナホール)
・市内の小学生～高校生が環境について取り組んだ成果を発表します。
皆さんから募集した環境作品をクロスホールほかで展示します。(11時～16時30分)
マリナホール(コンサート、講演会、環境サミット)への入場は、整理券が必要です。事前に市環境保全課に住所、氏名、参加人数をお知らせください。先着順で整理券を郵送します。

秋山豊寛さん

1990年に日本人初の宇宙飛行士として、旧ソ連の宇宙船ソユーズで宇宙へ行きました。現在は、福島県で農業を営み、無農薬栽培などを実践しながら、地球環境問題などについて講演や執筆活動を行っています。



お尋ね、整理券の申し込み

市環境保全課(☎⑧1787、ファクス⑧4477)
住所: ☎857-0851 稲荷町1-8
Eメール: kanhoz@city.sasebo.nagasaki.jp

公園スポーツ広場や学校の運動場をご利用ください

公園スポーツ広場

公園名	受付場所
中央公園、天神公園、大塔公園、もみじが丘中央公園	市役所公園街路課 (☎⑧1111)
広田公園、花高中央公園	早岐支所 (☎⑧2121)
三川内中央運動公園	三川内支所 (☎⑧8111)
柚木ふれあいの森公園	柚木支所 (☎⑧461111)

利用時間 6時～17時(年間を通して)

申し込み 利用日の1カ月前の同日から、先着順で1チームにつき2回まで予約できます。

ナイター(有料) 4月～11月に中央公園、もみじが丘中央公園で利用できます。申し込みは、市役所公園街路課で利用日の1カ月前の同日から先着順で受け付けます。

お尋ね 市役所公園街路課

学校の運動場(ナイター施設)

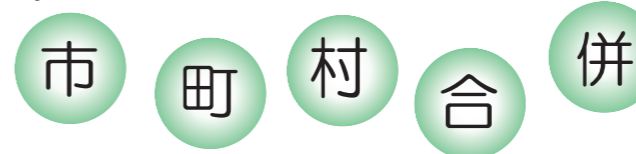
学校名	利用期間	受付場所
春日小学校	4月1日～11月30日	体育文化館 (☎⑧1522)
福石中学校 清水中学校	年間を通して	
早岐中学校	年間を通して	東部スポーツ広場 (☎⑧5855)

照明料 30分1,500円

申し込み 毎月第3水曜日13時30分から、各受付場所で利用日程調整会議が開催されています。利用希望月の前月の会議にご出席ください。

お尋ね 各受付場所

みんなで考えよう



シリーズ

佐世保市・吉井町・世知原町合併協議会の中で示された、合併による新しいまちづくり計画(将来構想)についてお知らせします。

合併後のまちづくりは?

県北の中心都市としてさまざまな面で高水準の都市機能を有する本市と、美しく豊かな自然に囲まれた吉井町、世知原町は、それぞれが独自のまちづくりを行ってきました。これらの特性が一体になることにより新しいまちの魅力を作っていくこと、次に掲げる基本理念に基づいて、新しいまちづくり計画を作っていきます。

合併後のまちづくりの基本理念

【多様な価値観を持つ人々の「協働」】
1市2町で進めてきた人づくりの実績を生かし、世代や性別を超え、多様な価値観を持つ人々が互いを認め合い、協働するまちづくりを進めます。

【交流による新たな活力の「創造」】
1市2町が有する“まち”の魅力や文化的な蓄積などを踏まえ、さまざまな交流を通して新たな活力を創造するまちづくりを進めます。

【都市と自然が持続できる環境の「共生」】
1市2町の都市機能や自然資源を基に、都市と自然が共生するまちづくりを進めます。

今後は、これらの基本理念を具体化させて、新市の将来像を描いていきます。ことし5月ごろまでにこの計画を完成させ、あらためて市民の皆さんにお知らせする予定です。まちづくり計画(将来構想)の素案は、市のホームページで公開しています。

お尋ね 市役所市町村合併推進室(☎⑧1111)